

9月5日～18日、提出議案18件 一般会計4200万円追加補正

弥彦村9月定例会 日程など決める

弥彦村議会九月定例会は五日から十八日までの十四日間と決定した。提出予定議案は平成二十九年年度決算認定、三十年度補正予算など十八件で、一般質問では四人が小林豊彦村長の考えをたずねる。

小林村長



弥彦村議会運営委員会

二十一日午前十時から開いた議会運営委員会

(赤川幸子委員長・委員四人)で決定した。

委員会には委員四人と武石雅之議長、小林村長、山岸喜一総務課長が出席。理事者側から提出議案と、国民健康保険、後期

案と全員協議会の協議内容、議会事務局から一般質問、日程などを説明し、協議した。提出議案は二十九年度決算認定八件、三十年度補正予算五件、条例の一部改正・制定三件、人事案件、その他各一件。決算認定は一般会計四会計、一般会計は既定の三十

八億八千六百九十九万五千円に歳入歳出それぞれ四十二億八千八百六十六万六千六百九十九円とす。追加工資を三十九億二千九百八十八万二千円とする。条例の一部改正は、情報公開条例と村税条例の二件。「商業施設の誘致及び利用促進に関する条例」の制定は、村内に商業施設を新設または空き店舗を取得して事業を行う者に対して、固定資産

日程では一日目の五日は、村政に対する一般質問を午前十時開始、議案の提出説明を行う。人事案件は委員会付託を省略し、即日採決を行う。散会後、全員協議会を開き、理事者側から下水道事業の総合戦略について説明する。六日は本会議を開き、馬表明が注目される。

一般質問4氏が通告

小林村長の2期目注目

七、八、九の三日間は、報特別委員会を開く。休会。十日は本会議・総括質疑を行う。散会后、競輪特別委員会を開く。十一日は午前十時から総務文教常任委員会、午後一時半から厚生産業常任委員会を開く。十二日は本会議・決算審査を行う。散会后、広一日にまとめて行うこと



弥彦村議会運営委員会

子ども食育

燕市ファミリーサポートセンターは七日午前十時から、同市吉田日之出町の燕市民交流センターで、研修会「子育て支援者として知っておいてほしいこと」を開く。この研修会は、安心して安全な子育てをサポートしようと、専門家を招き

とし、議会運営委員会は二十分ほどで終了した。本会議の開会時間は午前十時。一般質問の通告は質問順に次の通り。
△板倉恵一氏(無所属)
①「三年半の村政総括について」
△柏木文男氏(無所属)
①「ハザードマップの再確認」
△田中満男氏(無所属)
①「弥彦記念競輪・売上げ目標に届かずの高齢者支援センターの利用状況は」
△本多啓三氏(無所属)
①「広場構想竣工による村財政貢献について」